



3万球の「まちなかイルミネーション」

Cluster 七色彩彩!

個性が輝く各事業

「まちは公園」リーディング事業

庄原地域 Sōbara area

備北丘陵公園北入口から上野総合公園、かんぼの郷に至る周辺エリアを対象として、住民と観光客が美しいと感じる景観と「まちなか」の魅力づくりを促進し、にぎわいを再生します。

まちなかイルミネーションや花の坂道づくり、ミニ街路樹の設置などを行い、「公園」から「まちなか」へ、「まちなか」から「公園」へと新たな人の流れを作ります。



もぎ取り体験で収穫したイタリアンマトを使った「トマト鍋」で交流会

時代は癒しから向き合うへ “もてなしの西城”

西城地域 Saijo area

比婆山や県民の森、クロカンパークなど、年間約40万人の観光客に、地元農産物を使った食事や地元産の土産品を提供し、もてなしの物と場の充実を図ります。

具体的には、地元農産物を活用した四季のレシビを地元レストランでメニュー化したり、観光地にふさわしい案内パンフレットや看板を作ったりします。



わがまち自慢“彩”発見 足元で眠っている未来の“宝”はありますか？

東城地域 Tōjō area

人知れず眠る“宝”を掘り起こし、「東城地域の魅力」として町内外に発信し、地域への誇りと愛着を育み、全国に自慢できる地域づくりを進めます。

「未来の宝」の掘り起こし活動を進め、この宝を集約し「お宝マップ」の作製やインターネットの活用など、情報発信する仕組みを作ります。



東城の宝がいっぱいの「まちなみぶらり散歩ギャラリー」

クラスター型のまちづくり

(Cluster/クラスター=ぶどうの房)

本市は、極めて広大な区域の中に、旧市町の市街地が分散し、各地域内でも集落・住居が点在しています。そのため、従来の一極集中型の都市形態ではなく、それぞれの地域を核として、共に発展するクラスター(ぶどうの房)型のまちづくりを進めています。これにより、各地域の個性や特性を活かし、一体的な発展を目指します。

まちづくり基本理念

「げんき」と「やすらぎ」のまちづくり

人・自然・文化を愛し、新しいふるさとづくりにチャレンジ



比和地域

比和まちなか活用プラン
～暮らし活き活き
十人十色のまちづくり～

西城地域

時代は癒しから
向き合うへ
“もてなしの西城”

東城地域

わがまち自慢“彩”発見
足元で眠っている未来の
“宝”はありますか？

総領地域

湖畔の水辺と山野草
“里山を楽しむ総領地域”

高野地域

中国横断自動車道
開通に伴う
おかほち活性化
推進事業

比和地域

音の里構想

庄原地域

「まちは公園」リーディング事業
～公園とまちなかの
一体化を目指して～

特集 地域の個性を活かしたまちづくり

クラスターのまち実現プロジェクト

合併して4年が経過しようとする中、一体的なまちづくりを進めるとともに、

各地域の個性や特性を活かした地域づくりが求められています。

市では、長期総合計画に基づき、各地域の個性や特性を発揮・連携しながら、

一体的な発展を目指す「クラスター(ぶどうの房)型」の未来都市形成を推進するため、

本年度から「クラスターのまち実現プロジェクト」に取り組んでいます。

各地域の個性をどう活かすのか、動き出したプロジェクトの概要をお知らせします。

音の里構想

口和地域 *Kuchiuwa area*

音響や映像機器を多数展示している「口和郷土資料館」の特異性に注目し、「音のふるさと」心のふるさと」のまちづくりを目指します。

口和郷土資料館を「音の博物館」として、資料収集と情報発信を行います。また、「鮎の里」や「モーター物産館」など口和の各施設においても、音をテーマとした環境づくりを進めます。



音響機器などが多数展示されている口和郷土資料館

中国横断自動車道 開通に伴う わがまち活性化 推進事業

高野地域 *Takano area*

中国横断自動車道の開通をにらみ、地域の魅力ある資源を連携・活用し、高速道路を活かしたまちづくりを進めます。

高野IC付近に整備する「道の駅」のあるべき姿を議論しながら、基本構想図を製作し、「道の駅」をまちづくり・ものづくり・人づくりにつなげていきます。



ワークショップのメンバーで岡山県の道の駅へ視察研修

比和まちなか 活用プラン

暮らし活き活き
十人十色のまちづくり

比和地域 *Hiwada area*

古くから宿場町として栄えてきた比和の「まちなか」を重要な資源・財産と位置付け、「まちなか」を交流拠点として活用する地域づくりを進めます。

博物館と温泉を結び、手作り商品の展示や販売、まちなか散策が楽しくなるモニメントの設置など、「まちなか」にぎわいを創出します。



11月5日のイベントで民家の空きスペースを活用

湖畔の水辺と山野草 里山を楽しむ 総領地域

総領地域 *Sonyu area*

節分草をはじめとする山野草の活用と灰塚ダム湖畔の利活用の2つを柱に、観光客の受け入れ体制を整備し、交流人口の増加と地域経済の活性化につなげていきます。

山野草の自生地調査やパンフレットの作製、希少植物保護の研修などを通じて、地域資源の再発見や体験型の観光メニューづくりに取り組めます。



島根県川本町へ希少植物の保護育成について研修

プロジェクトの輪を広げよう

合併後、各自治振興区で主体的な地域づくりが行われていますが、旧市町単位での地域づくり活動はあまり見られなかった。で、「クラスターのまち実現プロジェクト」は大変良いことだと感じています。

わたしは「ひろしま県民の森」に勤務していることから西城地域のワークショップに参加し、西城地域を元気にするためにどうすればよいか、毎月、地域住民をはじめ市職員の皆さんとアイデアを出し合っています。西城地域は、

地元農産物を商品化し、観光客に提供する仕組みづくりを柱としていますが、これにとどまらず、西城地域の特色を活かした地域づくり活動が次々と展開されることを期待しています。

そのためには、より多くの市民参加が必要です。西城地域は、毎回オフトークで地域ワークショップの参加者を募集されていますが、まだまだ少人数です。各自治振興区や各種団体の方にも参加いただき、このプロジェクトが地域全体に広がってほしいと思います。



企画課 大原直樹 課長
おおはら まさき・平成20年度から現職

各地域の個性を磨き、市全体の発展に

庄原市長期総合計画の策定の際に、住民アンケートで「合併により周辺部の活気が失われるのではないか」という不安が多く寄せられました。そのため、各地域の特性を活かしたまちづくりを進めようと「クラスター（ぶどうの房）型のまちづくり」という新しい考え方を長期総合計画で示し、今回のプロジェクトに取り組んでいます。

本年度は、地域ワークショップなどを踏まえ、各地域の思いがカタチになるよう計画づくりに取り組んでいます。ワークショップなどの議論を優先する中で、今回示した素案の見直しもあるかもしれませんが、大切なのは、地域の発意に根ざした具体的で

持続的な活動にしていくことです。こうした活動が一つのきっかけとなり、各地域の活力がより一層輝きを増し、庄原市という大きな魅力あるふるさとを市民の皆さんと一緒につくっていきたいと思います。

「新庄原市」として、市民の皆さんには一体感の醸成が図られています。一方で自分たちが住んでいる旧市町への熱い思いもあると思います。これから、このプロジェクトの取り組み状況を広報していきますので、多くの市民の皆さんに参加していただき、また、さまざまなアイデアを企画課または各事業担当課の商工観光課や各支所地域振興室にお寄せください。



片倉端吾さん《西城地域》
かたくら たんご
ひろしま県民の森総支配人



西城地域のワークショップ